

2015年の電波伝搬実験について

de JA1RIZ

今年の実験移動は、コントロール局および移動局で9ポイント、13局の参加局で行われました。例年より参加局が少なかったですが、JA9EBS局が京都府、JR2CTR局が長野県へ、JJ1SXA局が福島県へと移動するなど、今までにないポイントからの運用もありました。

各局の移動展開状況として、最北端：JJ1SXA(喜多方市・三ノ倉スキー場)、最南端：JA1FYQ(鴨川市・愛宕山)、最西端：JA9EBS(京都府・太鼓山)、最東端：JA1FYQ(鴨川市・愛宕山)に囲まれたエリアでした。

各地ともほぼ天気には恵まれたのではないかと思います。コントロール局はじめ各局お疲れさまでした。

各局の最大の関心事であった最長距離交信など、暫定結果として次の様に発表いたします。

(1) 最長距離交信 (暫定)

順位	移動局 A	移動局 B	相互距離 (km)
1	JA1FYQ/1 千葉県鴨川市	JR2CTR/Φ長野県王滝村	238.9
	JR2CTR/Φ長野県王滝村	JA1FYQ/1 千葉県鴨川市	238.9
2	JA1WSE/1 東京都青梅市	JJ1SXA/7 福島県喜多方市	225.9
	JJ1SXA/7 福島県喜多方市	JA1WSE/1 東京都青梅市	225.9
3	JA9EBS/3 京都府伊根町	JR2CTR/Φ長野県王滝村	208.9

1位の移動局 A ⇔ 移動局 B は相互に、RS=41/41で交信が出来ました。中間伝搬経路に山岳地帯を抱えるが、両局とも海拔高は単純見通し距離(相互の標高のみの条件で見通し距離を算出したもの。以下同様)は約263kmである。しかし、中間の山岳遮へいがあるものと推測され、かろうじて交信が成立した。

2位についての伝搬は、両局間の単純見通し距離=207kmになっているが1位と同様、中間の山岳遮へいがありRS=51/51で、ギリギリの交信成立になったものと考えられます。

3位の伝搬は単純見通し距離283kmですから見通し内伝搬とも言えます。しかし、前述と同様に山岳等による遮へいがあったものと思われます。(RS=51/51)

今年の最大離隔距離のポイントは、[JA9EBS/3⇔JJ1SXA/7:約474km]でしたが両局とも入感無く、交信には至りませんでした。

(2) 最多ポイント交信

順位	移動局	ポイント数
1	JA1FYQ/1 鴨川市	6

なお、番外ですが、コントロール局は、交信ポイント7でしたので、キー局としてFBな移動地であったといえると思います。

(3) その他

◎ 昨年度もあったのですが、レポートの中の緯度・経度の表示があきらかに実際と異なっているものが複数ありました。国土地理院その他、ホームページの地図アプリケーションを利用すれば、地図上のポイント表示により、緯度・経度の数値が正確に分かります。カーナビのデータを利用する人もいるかと思いますが、測地衛星の位置や受信状況で異なった表示が出ることもありますので、必ず地図上にポイントを落として、確認をお願い致します。

各局間の伝搬距離は緯度・経度の値により算出していますので、緯度経度の誤差があると正確な距離が出ません。御留意の程よろしくお願い致します。

尚、これらのアプリケーションは池さんの240ホームページでも紹介されていますので参考にしてみてください。

◎ すべてのデータが承認できます様、参加者全員のレポート提出をお願いしたかったのですが、期限までに未提出がありました。その為、その局のデータは参考データとして取り扱うことになっています。せっかくの移動結果ですから期日までの提出をお願いします。

コントロール局を担当の斉藤OM、宍戸OMお疲れ様でした。

何はともあれ各局各位の御協力には感謝いたします。

技術講習会では、伝搬実験の結果についてのご意見、提案、感想などよろしくお願い致します。

以 上

2015/07/7 出稿